

## 平成 25 年度 遠山中学校区 小中連携・一貫教育 実施計画

学校名	遠山中学校	生徒数：1年 9名 2年14名 3年12名 計35名
		職員数：県費 12名 市費 2名 非常勤(内数)0名
	上村小学校	児童数：1年 3名 2年 3名 3年 5名 4年 0名 5年 3名 6年 2名
		計 13名
		職員数：県費 8名 市費 2名 非常勤(内数)0名
	和田小学校	児童数：1年10名 2年 7名 3年11名 4年 7名 5年11名 6年11名
		計 57名
		職員数：県費 12名 市費 2名 非常勤(内数)1名

\* 児童生徒数、職員数は平成 25 年度見込み数

### 1 研究課題

「郷土を愛し、社会の一員として、自立した生活ができる子ども」の育成

### 2 目的

- (1) 「自ら課題を見つけ主体的に学ぶ子ども」の育成をめざした学力と授業の連携を図る
- (2) 「時と場に応じて適切な言動ができる子ども」の育成をめざしたところと生活の連携を図る
- (3) 「体力(持久力)を高め、意欲をもって運動に取り組む子ども」の育成、および「心も体も健康に自立した子ども」の育成をめざした運動と健康に関わる連携を図る
- (4) 「自分で考動\*1できる子ども」の育成をめざした防災と安全に関わる連携を図る  
\*1) 考動：「自分で考え、判断して、行動する」意
- (5) 行事ほかの場面で交流と連携を深めあう児童生徒および教職員の連携を図る

### 3 実施内容

#### (1) 学力と授業の連携について

「自ら課題を見つけ主体的に学ぶ子ども」の育成をめざして

自分なりの思いや考えを「もつ 書く 伝える」ことができるような学習指導や授業展開の積み上げについて、各校の研究体制や学習指導に組み込んで、各校において実践し、三校の授業研究研修会でお互いの授業を公開する。

中学校の自主学習を主とした学習や家庭学習の充実へとつなげていくために、和田小・上村小共通の「学習の手引き(含む：家庭学習の手引)」を配布し、児童へは、学校での基本的な学習習慣の定着を促進するとともに、家庭学習への取り組み方について指導する。また、保護者へも、家庭学習のめあてや時間の目安、身につけさせたい力等を具体的に示して、家庭の協力を得ながら取り組みを進めるようにする。

9年間を見通したキャリア教育の活動例を「小中一貫のキャリア教育全体計画」として提示し、これに沿って実践を蓄積する。(=地域との連携)

#### (2) ところと生活の連携について

「時と場に応じて適切な言動ができる子ども」の育成をめざして

いつでも、誰にでも、進んで挨拶ができるような、挨拶の日常化を図るための取り組みの実施をする。

[あいさつ]

相手や時・場に応じた正しい言葉遣い、適切な話し方や聞き方について発達段階に応じて学ぶ活動を、道徳の授業やスキルアップ指導に位置づける。[言葉遣い]

正しいマナーに基づいて学校や家庭で生活ができるように、学校生活全般で指導の機会を設ける他、家庭との連携のもとに指導を進める。[マナー・姿勢]

(3) 運動と健康に関わる連携について

「体力（持久力）を高め、意欲をもって運動に取り組む子ども」の育成をめざして  
小中一貫した体力づくりとして、“持久力の向上”を軸にした取り組みを各段階で実施する。スポーツテストの結果の提示等により状況を「見える化」して、児童生徒に体力・運動能力向上についての意欲や関心を高めるとともに、指導の内容や方法を工夫して、継続的な指導を実施する。  
「心も体も健康に自立した子ども」の育成をめざして  
「食事面」「生活・健康面」「心理面」から、小低/小中/小高/中学の各段階に応じた三校共通の指導をする。  
早寝・早起き・朝ご飯に関わるアンケート調査の実施や、朝食の充実から健康な体づくりをめざす栄養教諭による食育指導を実施する。  
歯磨きや口腔内環境に関わる指導を進める中で歯の健康に関わる関心を高める

(4) 防災と安全に関わる連携について

「自分で考動<sup>1</sup>できる子ども」の育成をめざして  
9年間を見通した「防災・安全教育カリキュラム」に沿って実践し、加除修正を加える。  
○ 緊急地震速報に対する訓練（随時）  
3校同時の避難訓練及び緊急時引き渡し訓練の実施。  
○ 東海地震予知情報発令時の対応の共通化  
地域との連携を密にした防災体制の稼働（＝地域との連携）  
○ 南信濃・上村両地区で行政・自治会・保・小・中による定例的な連絡会の開催（4or5月）  
・行政・地域防災組織と保・小・中間の迅速な情報のやりとり・協力体制の恒常化  
○ 防災安全に関わる職員研修の実施（AED心肺蘇生法研修・防災倉庫の備品利用講習会等）

(5) 行事ほかでの児童生徒・教職員の連携について

小中の行事での連携・交流と、小中での行事での連携と交流会の持ち方等について、児童生徒の実態に添って、その都度の検討・修正を加えて充実させていく。  
○ 小中の交流・連携・合同授業等  
・ 1・2年 交流会  
・ 3年 飯田社会科見学  
・ 4年 清掃センターの見学、長野見学とその事前学習  
・ 5年 臨海学習及びその事前学習や集会  
・ 6年 修学旅行及びその事前学習や集会  
・ 5・6年 教科や単元等の必要に応じて合同授業〔算数・音楽：和楽器・ほか〕  
・ 全学年 スキー教室の合同実施  
○ 小中の交流・連携  
・ 三校交流会 音楽鑑賞教室の前後に生徒会主催の児童生徒の交流会の開催  
・ 出前授業 中学校職員による和田小・上村小の6年生合同授業実施（3学期）  
・ 中学校マラソン大会応援 和田小  
○ 三校教職員の交流・連携  
・ 飯田市小中連携・一貫教育 遠山地区研究会<sup>\*2</sup>（全体会・同学年・専科会・専門部会）：年2回  
・ 三校合同歓迎会 \*2) 以下、小中連携研究会と記す  
・ 授業研究会：年2回（小中各1回）  
・ 夏期研修会〔地域研修・スポーツ交流等〕  
・ 特別支援コーディネーター連絡会：学期1回  
・ 栄養教諭による学校訪問指導：月1回

4 公開の予定

企 画	期 日	会 場
遠山三校交流会	5 / 2 0 (月) 午前	遠山中学校
遠山三校授業研究会	6 / 3 (月) 午後	和田小学校
遠山三校授業研究会	1 0 / 2 8 (月) 午後	遠山中学校

\* 各校の一般公開参観日については、現在、年間計画立案中

5 平成25年度 飯田市小中連携・一貫教育 遠山地区推進委員会 【 推進日程 】

( 1 ) 飯田市小中連携・一貫教育 遠山地区推進委員会の活動

月	実施事項	内 容
4月	三校校長教頭会	事業計画・第1回小中連携研究会の内容の検討他
5月	小中連携研究会	全体会(本年度事業計画等の承認ほか) 同学年・専科・専門部の連絡・調整会
	特別支援コーディネーター連絡会	
	三校合同歓迎会	
	小中連絡会	
	遠山地区保健連絡会	
6月	授業研究会	和田小授業公開・授業研究会・実践報告会
7月	夏期研修会	地域研修・スポーツ交流 等
8月		
9月	三校同時避難訓練・緊急時児童生徒引渡し訓練	
	特別支援コーディネーター連絡会	
	遠山地区保健連絡会	
10月	授業研究会	遠山中授業公開・授業研究会・実践報告会 同学年・専科・専門部の連絡・情報交換会
11月		
12月	三校校長教頭会	本年度事業の中間反省と来年度の方向の検討 第2回小中連携研究会の内容の検討 他
1月	特別支援コーディネーター連絡会	
2月	小中連絡会	
	小中連携研究会	同学年・専科・専門部の反省会 全体会(本年度の総括と来年度の方向 ほか)
	遠山地区保健連絡会	
3月	三校校長教頭会	本年度事業の反省と新年度事業計画案の協議
上記の他の会合		
	○三校教頭連絡会	: 年7回
	○栄養教諭学校訪問	: 月1回
	○献立委員会・養護教諭連絡会	: 月1回
	地域防災連絡会(5月)	( = 地域との連携 )
	* その他	状況に応じて必要な会議を適宜開催

( 2 ) 小小・小中の交流・連携活動

月	学年	実施事項	内 容
4月	4年	飯田市清掃センター見学	社会科ゴミの処理についての学習
5月	5年	臨海学習	臨海学習及びその事前学習や交流集会
	6年	修学旅行	修学旅行及びその事前学習や交流集会
	小中	三校交流会	遠山中生徒会の企画による三校交流
10月	3年	飯田市内見学	飯田市内見学及びその事前学習
11月	4年	長野見学	長野見学及びその事前学習
12月	5年	中学校での音楽教室	和楽器に親しむ小合同授業
1月	小全	スキー教室	スキー教室の合同実施
2月	小中	中学体験入学・説明会	中職員による和田小・上村小6年生への合同授業(出前授業) 中授業・部活の見学 / 6年保護者への中学校説明

上記の他の連携活動

- 1, 2年 お楽しみ交流会を適宜企画: 年1~2回
- 5, 6年 教科・単元等の必要に応じて1時間・1週間等を単位とした合同授業  
〔算数・音楽: 和楽器・ほか〕

# 小中連携・一貫教育

## とおやまの人づくり

このように とおやまは 連携します  
～小中連携・一貫教育グランドデザイン～

### 学校



#### 学力と授業

- 表現し、伝える力
- 学習習慣の形成
- 家庭学習の充実
- キャリア教育の充実

#### こころと生活

- あいさつ
- 言葉づかい
- 姿勢、マナー

#### 運動と健康

- 体力を高める
- 歯の健康
- 朝食の充実

#### 防災と安全

- 危険についての理解
- 適切な備えと態度

### 家庭

#### 家庭での子どものしつけ

- 早寝・早起き・朝ごはん
- あいさつ・会釈・感謝
- はみがき
- 家庭学習時間の確保
- お手伝い
- その他基本的な生活習慣



### 地域

#### 地域での子どものしつけと支援・見守り

- 安全 … 自転車のり 登下校時の見守り
- あいさつ … 会釈、感謝の気持ち
- 学校行事への参加、理解と協力、支援と応援
- 人材派遣…クラブ 霜月祭り



～このように とおやまは 連携します～  
とおやまの人づくり

郷土を愛し、社会の一員  
として、自立した生活が  
できる子ども

遠くは里、美しい里  
美しい里人、心  
里である、時、心



飯田市立遠山中学校  
飯田市立上村小学校 飯田市立和田小学校

## 学力と授業の連携

◇自ら課題を見つけ、主体的に学ぶ子ども

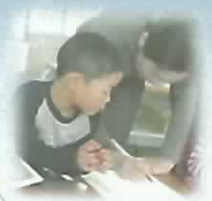
### ○考えを持つ・表現し伝える力の育成

「書く活動」に重点をおき、自分の考えを持つこと、自分の思いや考えを表現し伝える力を育みます。



### ○学習習慣の形成・家庭学習の充実

小中ともに「学習の手引き」を作成し、それらをもとに、必要な学習習慣の形成と自分のために勉強する態度を育みます。



### ○キャリア教育の充実

生活科・総合的な学習の時間・職場体験学習等を通じて、9年間にわたり連携的にキャリア教育を進めます。



## こころと生活の連携

◇時と場に応じて適切な言動ができる子ども

### ○笑顔で明るくあいさつできる子の育成



だれにでも「おはようございます」「こんにちは」、そして「ありがとうございます」を言える子どもを育てます。

### ○適切な言葉遣いができる子の育成

人を尊重し、相手意識をもった言葉遣いができる子どもに育てます。



### ○人としての誇らしい態度を身につける

社会生活を送る上での基本的なマナーを身につけていきます。



## 防災と安全の連携

◇自分で考動できる子ども



身の回りや地域の危険についての理解を深め、適切な備えと態度を育成し、独りでも考動（考え判断して動ける）できる人を目指します。

## 運動と健康の連携

◇体力（持久力）を高め、意欲をもって運動に取り組む子ども

### ○体力（持久力）を高め、意欲を持って運動に取り組む子の育成

9年間を見通して、体力（持久力）を高めるためのカリキュラムを組み、体力向上に努めます。



◇心も体も健康に自立した子ども

### ○歯の健康 ○朝食の充実

歯みがきの習慣、朝食の充実を中心課題として、心も体も健康な子どもを育てます。



## ○教職員もつながります

4専門部会【「学力と授業」「こころと生活」「運動と健康」「防災と安全】・学年専科会を母体とした小中連携・一貫教育の推進

- ・小学校・中学校における授業研究会を通しての研修会
- ・夏期合同研修会
- ・小小、小中連携・一貫の協議
- ・特別支援教育コーディネーターの連携による、スムーズな移行支援

## 行事その他の連携

<4月>

4年 社会見学  
・事前合同学習

<5月>

三校教職員連携研究会

5年 臨海学習  
・事前合同学習

6年 修学旅行  
・事前合同学習

音楽鑑賞教室  
三校交流会

<6月>

三校教職員授業研究会

<7月>

三校教職員夏期研修会

<9月>

3年 社会見学  
・事前合同学習

<10月>

1・2年 交流会

三校教職員授業研究会

<11月>

4年 長野見学  
・事前合同学習

<12月>

中学校教員による小小合同授業①

<1月>

スキー教室

<2月>

中学校教員による小小合同授業②

三校教職員連携研究会

～このように とおやまは 連携します～  
とおやまの人づくり